

# 荻窪の「コンセプト」を 考えるワークショップ ワーク結果まとめ

## ワークショップ概要

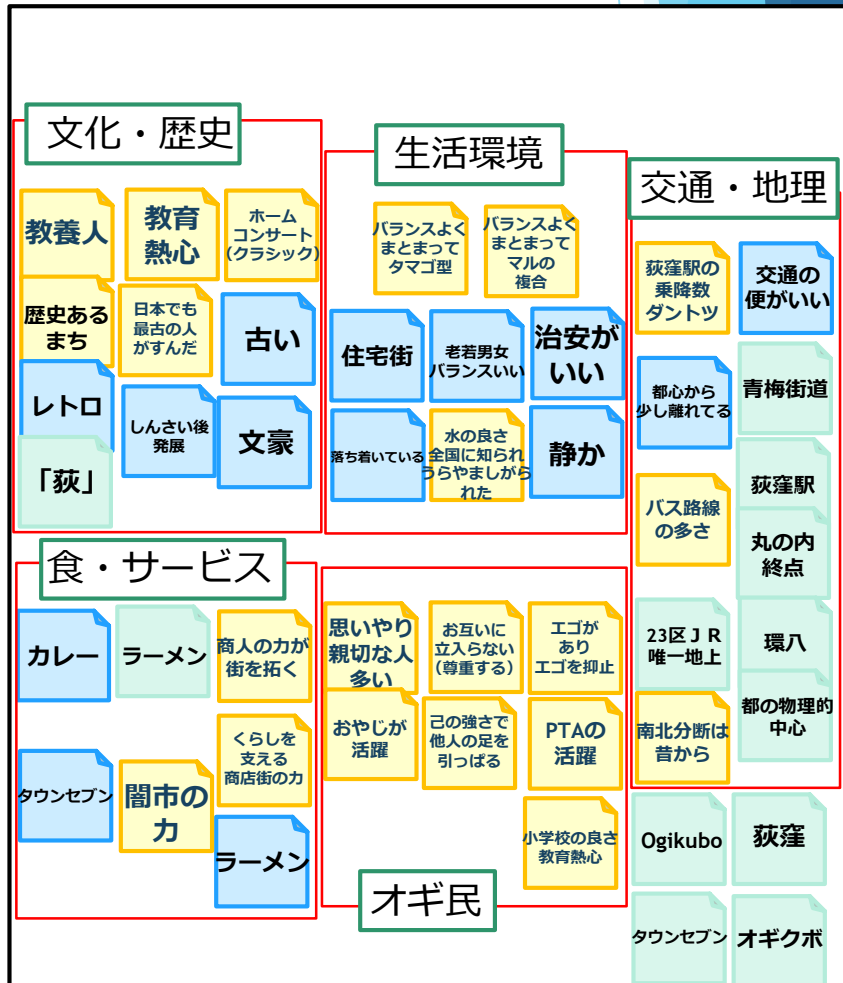
- ・開催日 : 令和3年9月25日 (土曜日)
- ・参加者 : 34名
- ・会場 : 荻窪地域区民センター 第一、第二集会室
- ・講師 : 女子美術大学名誉教授 ヤマザキ ミノリ氏



「荻窪はたまご形」

生活、治安、交通、商店街のバランスが良く、個性と思いやりのある住人のまち

個性はありつつ、互いを尊重する調和のとれたイメージ



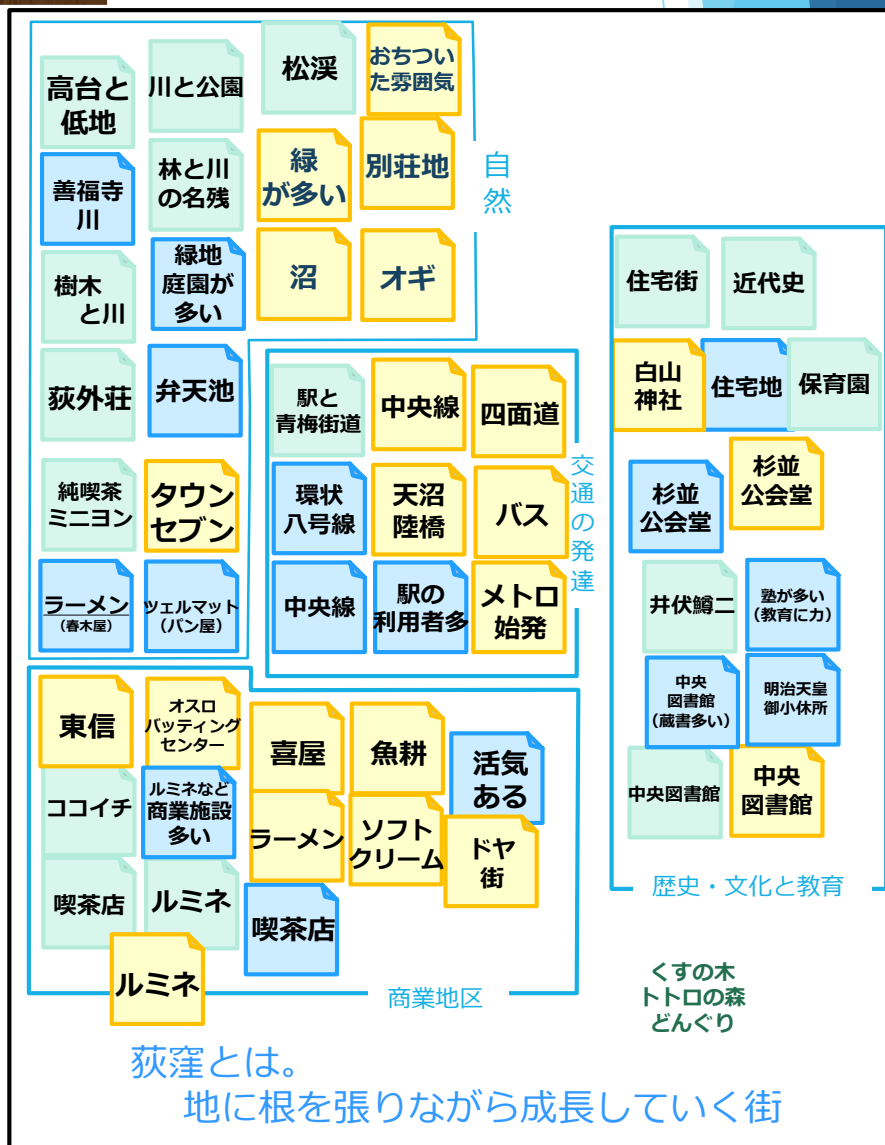
荻窪は、イメージは「タマゴ」型  
個性がありつつ、お互いを尊重しながら  
調和がとれている街



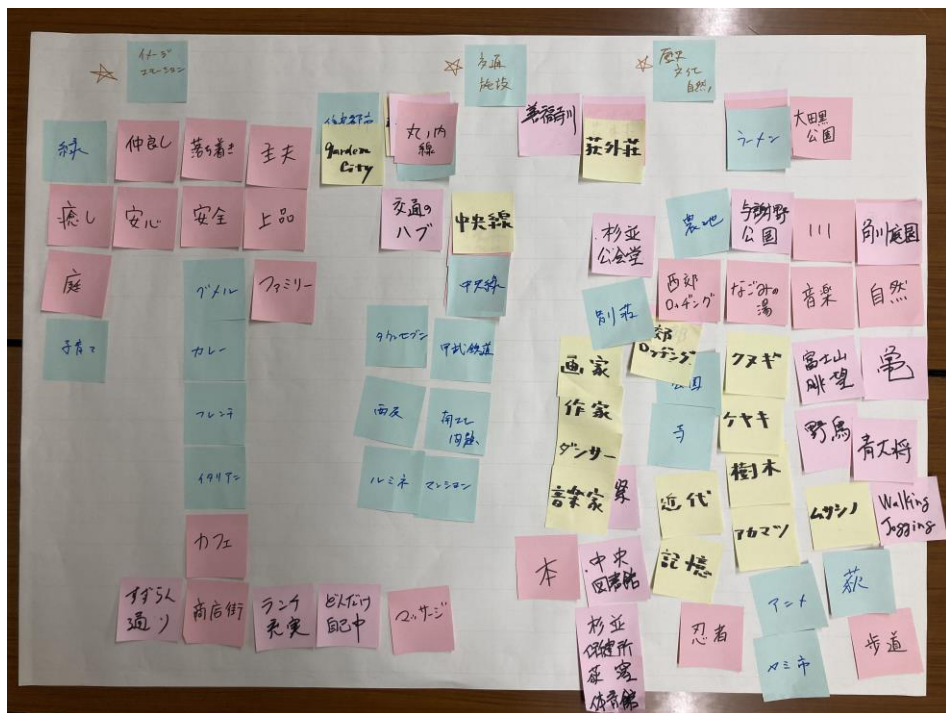
## 「大樹の様な街」

地に根を張りながら、歴史、商業、交通の発達したまち

昭和初期からまちがあり、明治天皇の小休所跡などがありつつも、新しい価値観を取り入れながら成長しているまち

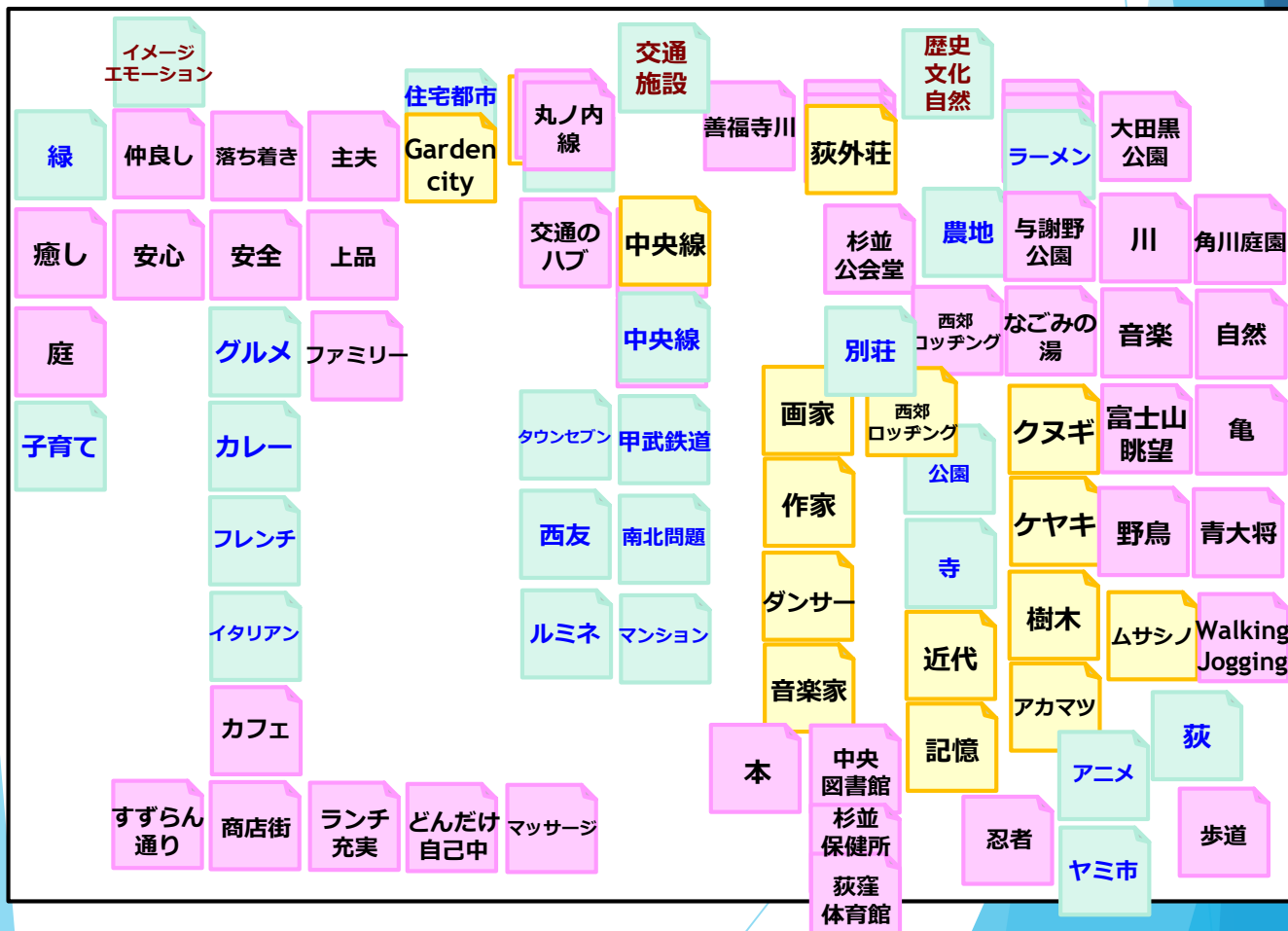


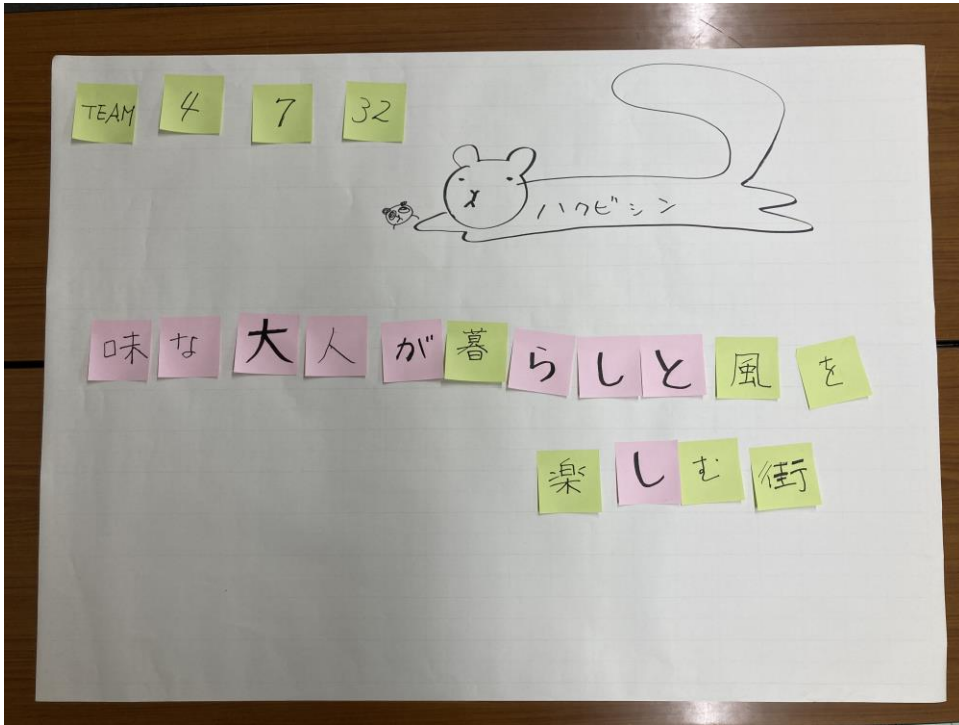
荻窪とは。  
地に根を張りながら成長していく街



「自己完結している街」

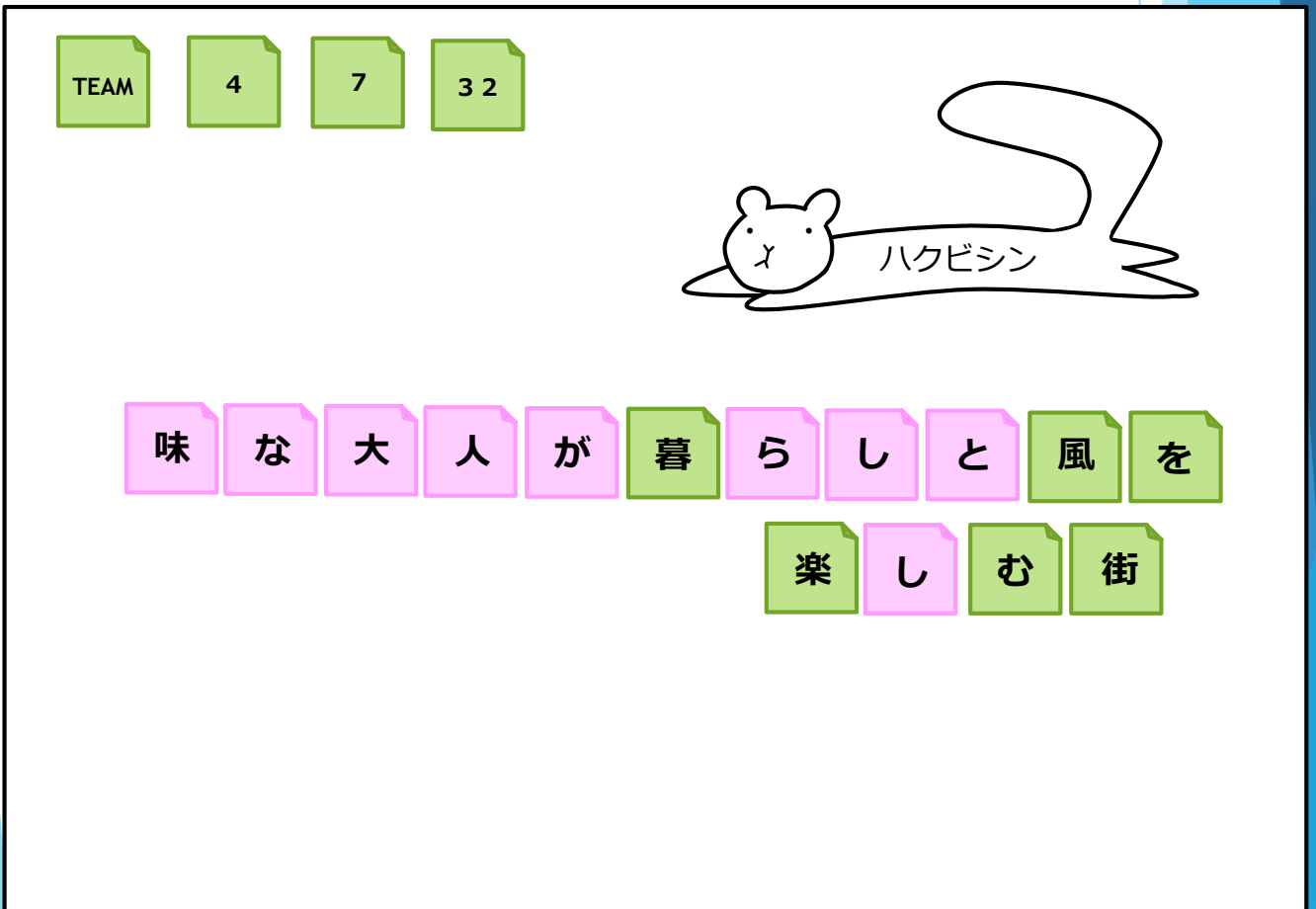
丁寧な住み方の住人、完成度の高いまち、物欲しげにアピールしないまち

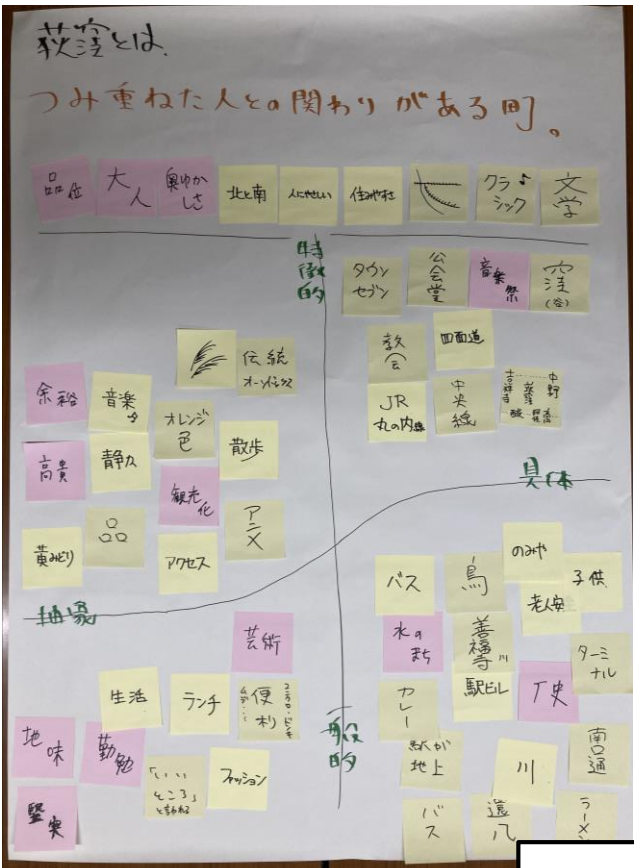




「味な大人が暮らしと風を楽しむ街」

自然が多い、大人が多い、熟度が高い、FB荻窪を楽しむ会は約4000人がフォロー。32年住んでも新しい発見がある。



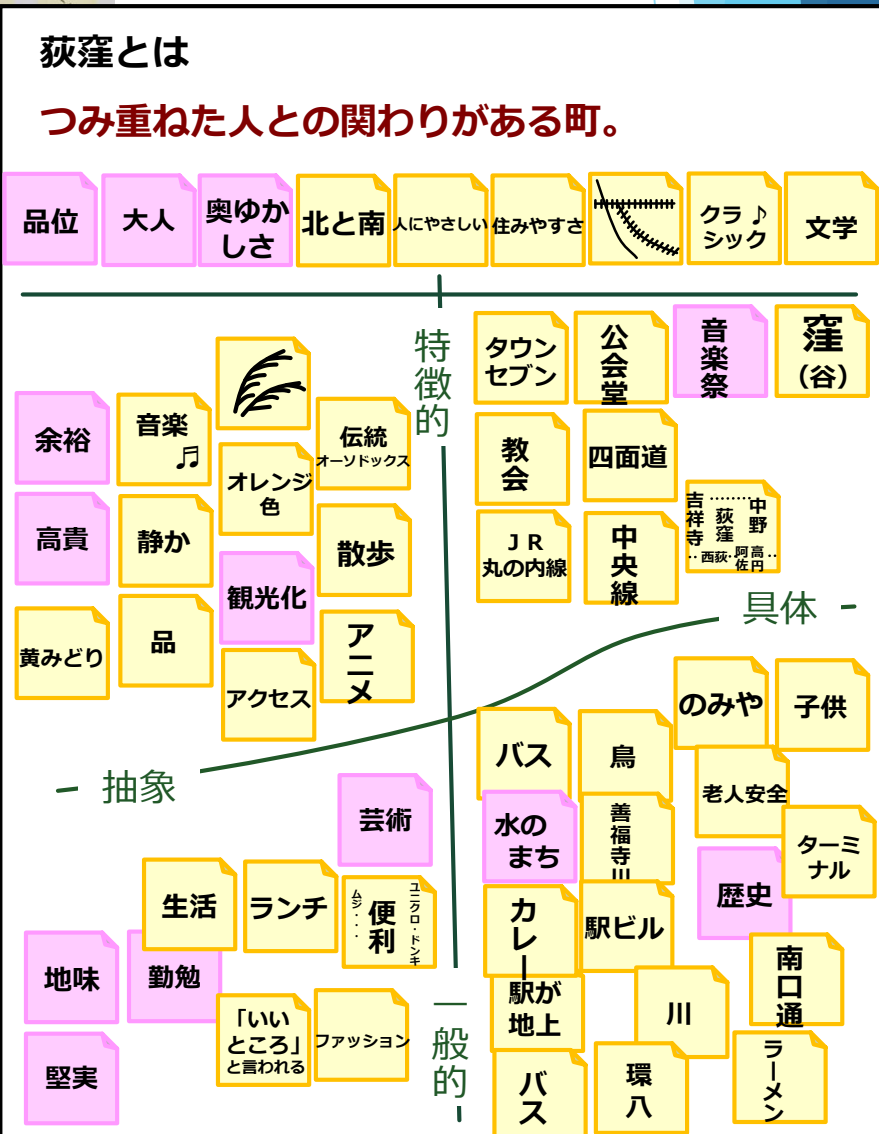


「積み重ねた人との関りのあるまち」

熟している、伝統、品がある、複層文化のまち

色々な線が重なりあっているところに荻窪がある。

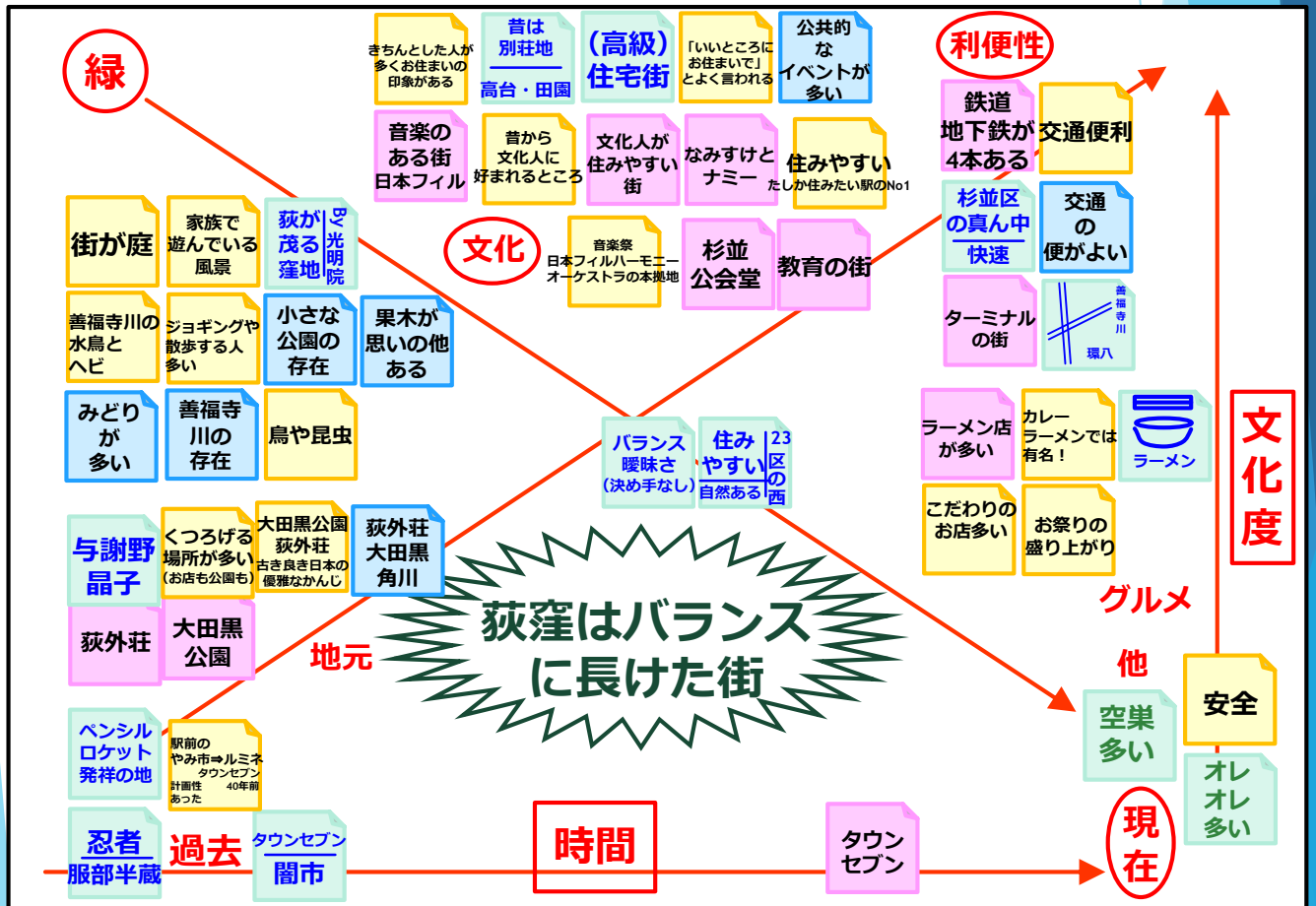
窪地に積み重ねた歴史に荻が生えるような空間をイメージ





「バランスに長けたまち」

マトリクス分析で縦横の文化度、時間軸に加え、斜め軸に利便性と自然を加えた分析をしたところ、ちょうど真ん中（バランスよいところ）に荻窪があるという結論に至った

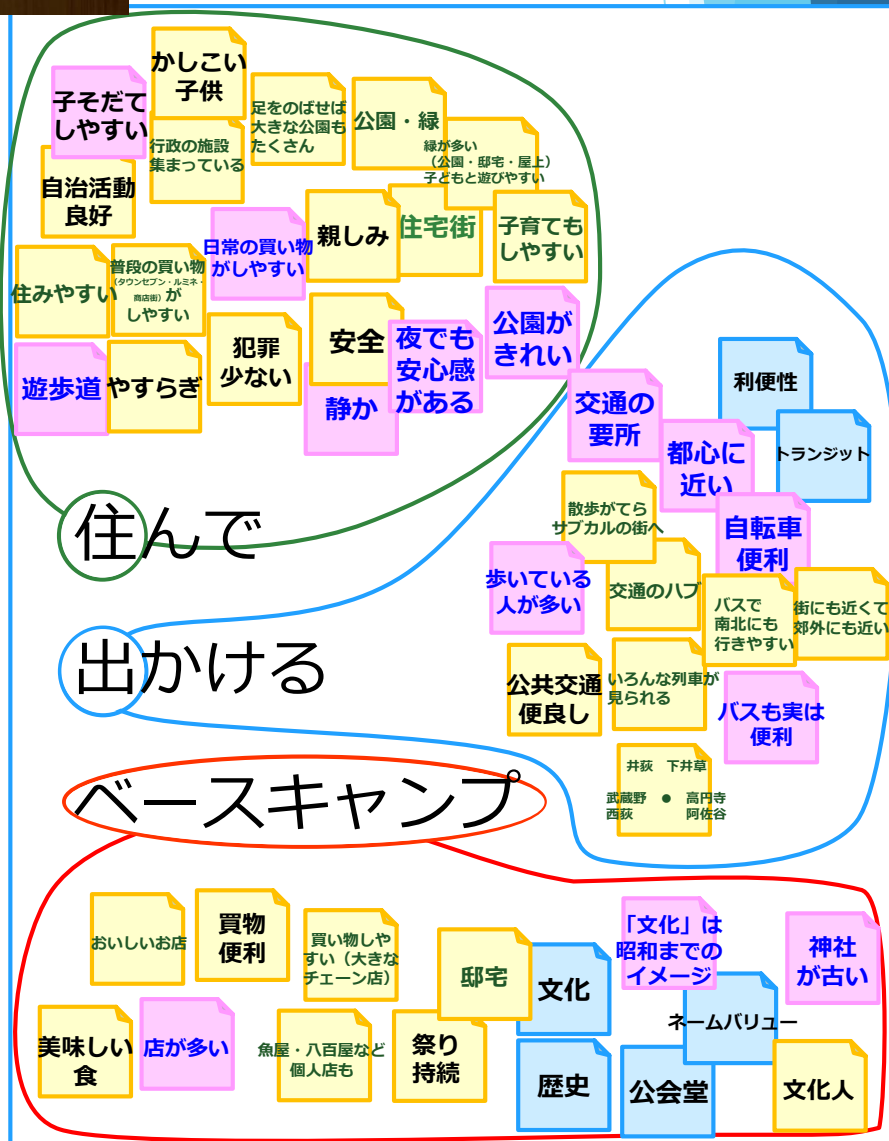




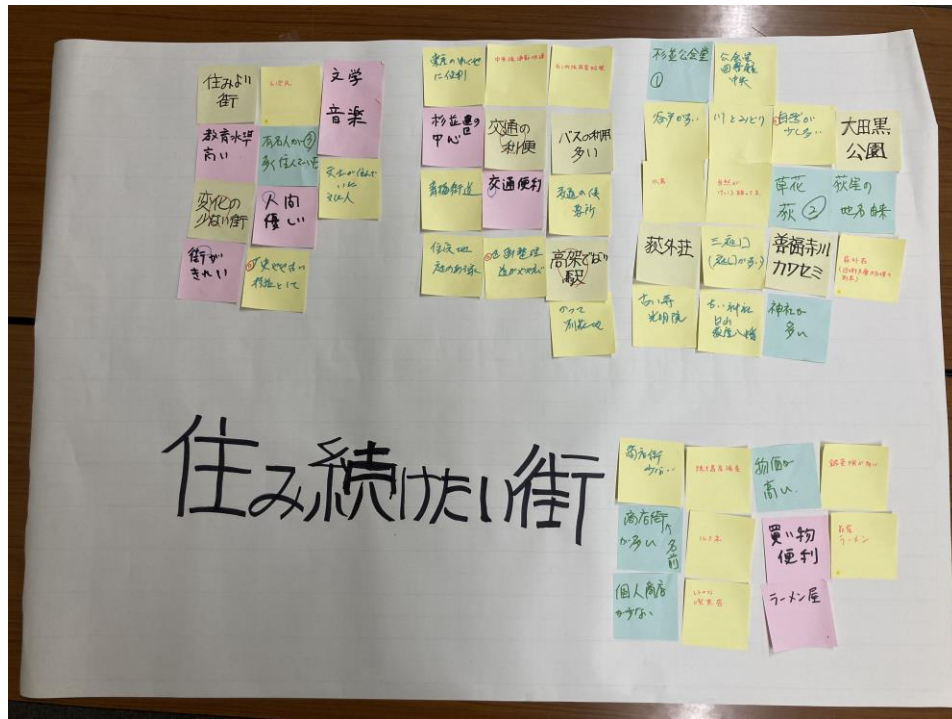
「住んで出かけるベースキャンプ」

訪れてよしのイメージはしにくい  
が、荻窪に住んで、そこから出か  
けて行くイメージがある。

静かで安全なイメージのまちで、  
生活するには最適なベースキャン  
プ





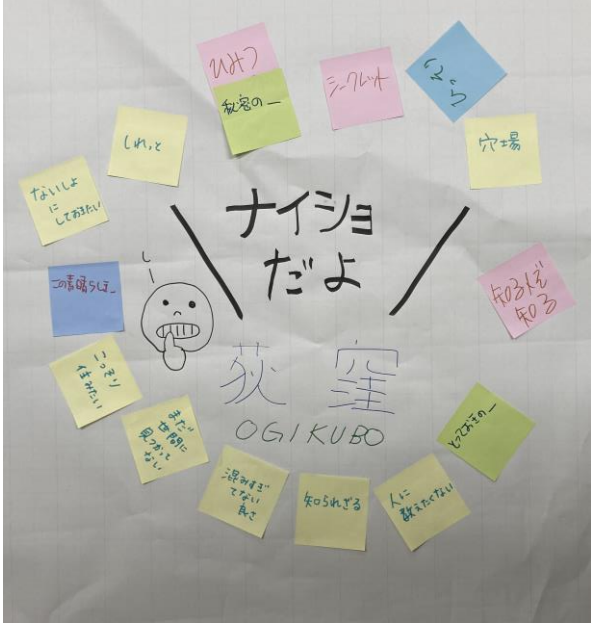


「住み続けたい街」

変化が少なく、永く住んでいる人たちが多いまち

# 住み続けたい街

|  |   |   |  |   |  |  |  |   |
|--|---|---|--|---|--|--|--|---|
| <p><b>住みよい街</b></p> <p>教育水準が高い</p> <p>変化の少ない街</p> <p>街がきれい</p> | <p><b>6次元</b></p> <p>有名人が多く住んでいた</p> <p>人間優しい</p> <p>歴史や古い杉並として</p> | <p><b>文学</b></p> <p>音楽</p> <p>文士が住んでいた文化人</p> <p>音楽</p> | <p>東京の中心地に便利</p> <p>杉並区の中心</p> <p>青梅街道</p> <p>住宅地庭のある家</p> | <p>丸ノ内線狭窪始発</p> <p>交通の便利</p> <p>交通の便利</p> <p>区画整理道がやや広い</p> <p>かつて別荘地</p> | <p>バス利用が多い</p> <p>交通の便要所</p> <p>高架でない駅</p> | <p>杉並公会堂</p> <p>谷戸が多い</p> <p>水鳥</p> <p>狭外荘</p> <p>古い寺 光明院</p> <p>商店街が少ない</p> <p>商店街が多い</p> <p>個人商店が少ない</p> | <p>公会堂 図書館 中央</p> <p>川とみどり</p> <p>自然が 少々残ってる</p> <p>善福寺川 カワセミ</p> <p>古い神社 白山 狭窪八幡</p> <p>物価が高い</p> <p>ルミネ</p> <p>レトロな喫茶店</p> | <p>大田黒公園</p> <p>草花 萩</p> <p>狭窪の地名由来</p> <p>狭外荘 (近衛文麿総理の別荘)</p> <p>神社が多い</p> <p>銅灸院が多い</p> <p>狭窪 ラーメン</p> <p>ラーメン屋</p> |
|--|---|---|--|---|--|--|--|---|



「ナイショだよ 荻窪」

良いところが沢山あるけれど、世間に広く知られることで、その良さが消えてしまおうと困るので、ナイショにしたい

